

沖縄県立図書館運営方針に基づく図書館評価（総括表）

※対象年度：令和3年度

1 各目標の推進状況

目標	1	県民に開かれた知の拠点
目指す目標像	県立図書館は、全ての県民が気軽に利用でき、県民の多様なニーズに応える「知の拠点」として、生涯学習を通じて豊かな知識と心を育む場を提供します。	
関連取組	1-①県民が主体的に集い・交流・創造する「場」づくり 1-②展示コーナーを活用した情報発信 1-③ボランティア等県民との協働 2-①障害者等向け資料の充実 2-②障がい者等サービスについての広報 2-③研修会・講演会等の開催 3-①多文化エリアのサービス充実 3-②外国人向けの情報提供の充実 4-①窓口委託業務のモニタリング等 4-②満足度アンケートの実施 5-①ホームページの充実 5-②広報誌・SNSによる情報発信 5-③各種イベントへの参加	

令和3年度 目標推進状況
概ね順調
備考（概要等）
活動指標進捗：3/3「順調」 成果指標進捗：3/4「達成」、1/4「未達成」（利用登録者数） ○多文化・国際交流関係イベントとして、アメリカ映画上映会、英語講座、英語多読講座、英語でおはなし会等を開催 等

目標	2	琉球・沖縄関係資料の中核的図書館
目指す目標像	琉球・沖縄の文化継承・発展の中核となり、誇りうる図書館として、県民のアイデンティティの継承発展に資すること等を目的に、蔵書の核となる郷土資料の充実・保存・活用を図り、文化の創造に貢献します。	
関連取組	6-①郷土資料の網羅的収集 6-②貴重書の継続的な調査・収集 6-③移民関連資料の収集・提供 6-④視聴覚資料の調査・収集・提供 7-①適切な保存環境の整備及び収蔵計画の策定 7-②寄贈資料整理計画の策定 7-③郷土資料の修復・デジタル化の実施 8-①貴重資料・新収蔵資料等に係る展示会の開催 8-②図書館資料を活用した講座・セミナー等の開催 8-③デジタルアーカイブの充実 8-④郷土資料関連サービスにかかる情報発信	

令和3年度 目標推進状況
順調
備考（概要等）
活動指標進捗：4/5「順調」、1/5「やや遅れ」（購入による郷土資料受入冊数） 成果指標進捗：3/3「達成」 ○放送ライブラリーコンテンツ提供開始 ○電子展示会実施 ○移民関係資料151点収集

目標	3	地域や県民の課題解決を支援する図書館
目指す目標像	地域や県民の多様化・専門化する課題に対応した情報を広範囲に収集し、活用できる図書館を目指します。	
関連取組	9-①健康・医療、子育て等、課題解決サポートの充実 10-①就労、企業、経営に関する資料の収集 10-②関連機関等と連携した相談会、セミナー、講座等の開催 11-①国・県・市町村等事業との連携 12-①琉球・沖縄に関するレファレンス対応能力の向上 12-②郷土資料関連サービスにかかる情報発信 12-③移民関係資料を活用したルーツ調査等の実施	

令和3年度 目標推進状況
概ね順調
備考（概要等）
活動指標進捗：5/5「順調」 成果指標進捗：2/4「達成」、2/4「未達成」（ワイドDB端末利用数、ビジュアル利用数） ○移民ルーツ調査を61件実施 ○健康医療関連講演会を3回実施

目標	4	県域の中核となる図書館
目指す目標像	すべての県民に等しく読書環境を提供するため市町村立図書館及び図書館未設置町村を支援するとともに、関係機関とのネットワークの充実を図り、県全域の図書館サービスの向上に寄与します。	
関連取組	13-①遠隔地返却、協力貸出、電子書籍等による利便性の向上 14-①子どもの読書活動推進に資する研修等の開催 14-②読書活動推進団体及び学校図書館の支援と連携 14-③子どもの読書活動推進に資する図書の実装及び展示会・イベント等の開催 16-①相互貸借に係る資料配送の支援 15-②市町村立図書館等との連携協力及び情報提供の強化 16-②移動（空とぶ）図書館、一括貸出、協力貸出の実施 16-③関係町村との連携協力・情報提供の強化 17-①関連・類似機関と連携した事業等の開催及びネットワークの強化 18-①県内図書館職員を対象とした研修計画の策定と実施 18-②県立図書館職員の専門性の向上及び研修機会の確保	

令和3年度 目標推進状況
取組は概ね順調だが、成果は遅れている
備考（概要等）
活動指標進捗：2/4「順調」、2/4「大幅遅れ」（学校等訪問回数、移動図書館開催回数） 成果指標進捗：1/4「達成」、3/4「未達成」（巡回車搬送点数、未設置町村向け貸出数、電子書籍閲覧数） ○本の宅配サービス「ひーじゃー便」を通常サービス化 ○電子書籍サービスを通年提供 等

3 総括評価（自己評価）

活動指標について、全17項目中、14項目が「順調」となっている。「やや遅れ」または「大幅遅れ」となっている3項目については、郷土関係資料の出版状況や新型コロナウイルス感染症という外部要因の影響により、目標値を達成できなかったものであり、各目標の達成に向けた取り組みは順調に進められてきていると思われる。
成果指標については、全15項目中、「達成」が9項目、「未達成」が6項目となっている。こちらについても「未達成」となっている項目は、新型コロナウイルス感染症による影響を受けたものとなっているが、サービスの周知等により改善が期待できる指標も多いことから、周知・広報の充実に取り組みたい。
今回から実施した、4種類の利用者満足度調査について、初回で、準備等に時間をかけられなかったこともあり、十分な回答数が得られなかった。運営改善に向け、貴重な意見が得られる場となる為、次回からは、実施時期・方法等を改善し、多数の回答が得られる用取り組み必要がある。また、今回の試行結果を活かし、より利用者の意向・状況を把握できる形で次年度からの本実施につなげたい。
目標別の推進状況について、目標2「琉球・沖縄関係の中核的図書館」では、推進状況が「順調」となった他、目標1（「県民に開かれた知の拠点」）及び目標3（「地域や県民の課題解決を支援する図書館」）についても「概ね順調」となった。一方、目標4「県域の中核となる図書館」に関しては、活動指標・成果指標ともに目標に未達のもの半分以上となっている。新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものがほとんどだが、市町村対象の満足度調査で要望も多く寄せられていることから、要望に応えながら市町村支援等の充実に取り組みたい。

2 参考指標の推移

参考指標1	入館者数					備考
平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		R3年5/23～7/11及び7/23～9/12は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言の為、臨時休館（6月と8月は開館日ゼロ）
344,565人	249,999人	562,962人	280,451人	233,539人		
(1,184.1人/日) (1,700.7人/日) (2,003.4人/日) (1,130.9人/日) (1,061.5人/日)						

参考指標2	蔵書冊数					備考
平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		【R3内訳（概数）】 一般書・422千冊 児童書・64千冊 郷土・337千冊 広域サービス用・105千冊
878,020冊	902,419冊	870,895冊	909,650冊	927,856冊		

参考指標3	貸出冊数					備考
平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		【R3内訳（概数）】 一般書・195千冊 児童書・86千冊 郷土・20千冊 広域サービス用・50千冊
410,510冊	195,772冊	484,769冊	383,142冊	349,875冊		
(1,410.7冊/日) (1,331.8冊/日) (1,725.2冊/日) (1,544.9冊/日) (1,590.3冊/日)						

参考指標4	レファレンス件数（一般）					備考
平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		※H29～R1は一般と郷土の合計値を記載 R3より計数方法見直しあり
14,833件	7,546件	16,151件	8,866件	31,240件		

参考指標5	レファレンス件数（郷土）					備考
平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		※H29～R1は一般と郷土の合計値を記載 R3より計数方法見直しあり
14,833件	7,546件	16,151件	5,777件	5,760件		

その他参考	開館日数					備考
平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		H30は新館移転に伴う長期休館あり、R2.3以降は、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館あり。
291日	147日	281日	248日	220件		

4 外部評価

令和3年度はコロナ禍2年目にあたり、沖縄県では感染者数が常に高い水準で推移し、緊急事態宣言が長期間にわたって発出されるなど、図書館運営においても困難なことが多かったと思われる。そうした中でも、活動指標17項目については14項目が「順調」、成果指標についても15項目中9項目が「達成」となっている点は、昨年度のコロナ禍での経験をふまえて、県民サービスの維持・向上に努めようとしたことの結果として高く評価できる。
目標1に関しては、成果指標3に関連して、中高生に人気のある自習席の有効活用を目指した予約システムの導入について意見が委員より多く寄せられた。将来の社会の担い手である中高生の利用を伸ばすことは重要だが、市町村立図書館の役割との違いも改めて確認しながら、郷土資料の紹介、電子書籍の活用といった、県立図書館らしいサービスにつながるよう、短期的な目標設定や対応を検討していただきたい。
県立図書館固有のサービスを支える郷土資料の収集に関する評価項目（目標2・活動指標1）についても、委員から多くの意見やアドバイスが寄せられた。例えば、郷土資料を用いたサービスについては、収集面だけでなく、入室者数やコピー件数など利用面も評価してはどうか、という意見が寄せられた。また、購入図書が「やや遅れ」と評価されている点について、その年の出版点数が少ない場合は到達できない目標となっていることが問題視されたが、安易に目標値を下げるのではなく、一定の目標冊数と予算規模を維持しながら、これまでに収集できていなかった（収集漏れ）図書の購入を検討するべきという意見もあった。基盤の変更にについては検討を続けていたが、コメント欄などを工夫して、郷土資料室の取り組みが県民に正しく伝わるようにしていただきたい。
目標3に関しては、コロナ禍の影響で途切れてしまったようにも思われる県民の図書館の利用習慣をどのように取り戻していくか、という点が議論になった。例えば、課題解決支援については、活動指標については「順調」と評価となっているが、生活困窮者への支援など、コロナ禍だからこそ新たに生じている課題に県立図書館としてどうコミットメントしているか、という点が見えにくいという指摘もあった。取り組みがやや遅れているパスファインダーの作成などを通して、県民の生活課題に直結するような情報提供のあり方を検討してほしい。
目標4に関しては、活動指標・成果指標ともに目標に「未達成」が半分以上となっているものの、職員の研修機会を多く設け（活動指標4）、司書講習の受講を通して、正規職員内の有資格者比率を高めている点などから、こうした基盤づくりが次年度以降のサービスの質の向上につながっていくものと大いに期待している。今後も専門職の配置・養成を進めていただくよう協議会としても要望したい。